

令和2年1月15日(水)に開催した令和元年度第10回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

## 1 議案

### (1) 静岡文化芸術大学副学長及び同文化・芸術研究センター長の選任について

#### ア 趣旨

事務局から、学長より副学長および文化・芸術研究センター長の候補者の申出があり、これについて役員会の意見を聴取するという説明があった。

#### イ 主な意見・質問

・この度、2年の再任の任期を頂くにあたり、初めて全体の人事の考えを表現した。大きな背景としては本学に大学院の博士課程を設けることがある。現在、文化政策研究科とデザイン研究科の2専攻であるが、第3の専攻を立ち上げて、その上に博士号を取得できる課程を設けるという提案をする。また、文化・芸術研究センターを「グローバルデザイン研究所(仮称)」として専任、客員の教員を加え、また、両学部から新しい教育・研究をしたいという教員を募り、大学院を強化する。その構想を遂行できる人物を副学長、文化・芸術研究センター長の候補者として選んだ。(学長)

#### ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

### (2) 非常勤講師の委嘱について

#### ア 趣旨

事務局から、4名の非常勤講師の委嘱について説明があり、3名は現任の退職、1名は匠領域に係る新カリキュラムのため委嘱するということが伝えられた。

#### イ 主な意見・質問

特になし

#### ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

### (3) 受託事業について

#### ア 趣旨

事務局より、静岡県からの「文化力の拠点」整備に係る設計公募に向けたアドバイザー業務の委託について令和2年3月までの受託事業として受ける旨の説明があった。

#### イ 主な意見・質問

特になし

#### ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

## 2 報告事項

### (1) 報告事項1 静岡文化芸術大学学部長及び研究科長の選任について

事務局から、今年度末で任期満了を迎える学部長及び研究科長の選任があったことの報告があった。

以上